

児童発達支援自己評価表

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月8日

事業所名 児童発達支援センター めだかの学校

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|----|-----|--|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 20 | 1 | ・狭く感じる時があるが、1つのグループを2つに分けて対応している。 | ・引き続き、時と場合に応じ柔軟にグループを分けるなどして対応する。 |
| | 2 職員の配置数は適切であるか | 19 | 2 | ・職員の休みがあっても臨機応変に対応している。 ・グループ療育という意識をもつようにしている。 | ・子どもの安全確保に必要な職員配置になるよう検討する。 ・常時OT、PTなどの配置がないため検討する。 |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 19 | 2 | ・個々に合わせた環境の構造化をしている。 ・トイレを使いやすく工夫している。 | ・個人に合わせた工夫を適時取り組んでいく。 ・安全確保のため玄関の自動扉のスイッチが設置された。しかし子どもがジャンプして押すような姿もみられるため注意喚起をした。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 21 | | ・毎日の掃除、定期的な片付けや掃除を行っている。 ・一日2回の消毒をしている。 ・整理している。 | |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 19 | 2 | | ・適宜ミーティングを実施する。 |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 21 | | | |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 21 | | | |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 19 | 2 | ・発達支援推進協議会で事業報告を行っている。 | ・地域の色々な立場の人に知ってもらう取り組みを検討する。 |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 20 | 1 | ・回覧で研修が周知されている。 ・職場内で様々な研修会を行ったり外部の研修の機会を設けたりしている。 | ・一度に全員の参加が難しいが、全員が研修の機会が得られるように工夫する。 ・新規採用職員のためには年度当初に研修の機会を設けるようにする。 |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 21 | | | ・生活動作など自立度をアセスメントできるツールを検討する。 |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 21 | | | ・発達検査以外にも使用できるアセスメントツールを検討する。 |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 21 | | | |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 21 | | | |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | 21 | | ・最低3人で話し合っている。 | |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 21 | | | ・固定する所と変化をつける所をしっかりと話し合い療育を行う。 ・他のグループの活動も共有しながら、もっと活動のバリエーションを増やす。 ・保護者に対しても掲示やおたより等で共有する。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|---|--|---|
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 21 | | ・数人でミーティングを行い、皆の意見でまとめられている。 | |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 21 | | ・共通理解できるよう努めている。 | ・活動内容の確認できているが十分かどうかの検討をする。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 21 | | ・終了後のミーティングで共通理解をしている。 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 21 | | ・記録の時間が確保されていて、相談しやすい環境である。 ・日々の記録はできる限り業務内に仕上げるようにしている。 ・療育終了後、記録を話し合いを行っている。 | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 19 | 1 | ・半期で評価し、保護者と面談しながら計画の見直しを行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 13 | 8 | | ・相談支援事業所の役割を正しく理解し連携を図っていくことが必要である。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 17 | 3 | | ・ケースによるため、全体的な連携を図る取り組みを検討する。 ・関係機関向けに活動の様子を広報していく。 |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 21 | | | ・保護者から医師の指示書を預かっている。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | 20 | 1 | | ・できていない訳ではないが実際にやり取りをしているわけではないため、工夫が必要である。 ・看護師の配置日数について検討する。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 19 | 1 | | ・新入園児の入園先との連携を行っている。 |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 20 | 1 | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。 | 17 | 4 | | ・障地連での助言、研修がある。 ・意見交換会を定期的開催し、お互いのサービスについて話し合える機会を設ける。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 21 | | | ・共通理解できるよう努めている。 ・個々の保護者に合わせた伝え方の大切さを日々感じている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 21 | | | ・親グループを実施している。 |
| 保護者への説 | 30 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 20 | | | ・事業所としての意識を持ち、説明を丁寧に行えるよう更に取り組む。 |
| | 31 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 21 | | | |

| | | | | | | |
|---------|--|--|----|--------------------------|---|---------------------------------------|
| 明責任等 | 32 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 21 | | ・療育終了後に様子を聞いたり助言を行っている。 | |
| | 33 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 19 | 2 | ・親グループを実施している。 ・お父さんの交流会を実施し保護者同士のつながりを作っている。 | ・引き続き、親グループや交流会の実施に力を入れていく。 |
| 非常時等の対応 | 34 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 21 | | | |
| | 35 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 21 | | | ・一般向けにホームページでどんな活動をしているのか公開することを検討する。 |
| | 36 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 21 | | ・個々のファイルは1か所にまとめて保管されている。 ・職員同士で声かけをしたり、気がついたら机上を整理しあうなど意識が高まっている。 | |
| | 37 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 21 | | | |
| | 38 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 4 | 15 | | ・地域とのつながり作りは課題であり、行事に地域の人を招待するなど検討する。 |
| | 39 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 20 | 1 | ・今年度はじめて不審者対応訓練ができた。 | ・マニュアルの周知に努めていく。 |
| 40 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 21 | | ・訓練後の反省会をし、職員会議等で周知している。 | | |
| 41 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 20 | | | | |
| 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 15 | 5 | | ・おやつを提供する際には保護者に聞き取りを行う。 ・おやつやクッキングの際、マニュアルを作成し、安全に提供できるように努める。 | |
| 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 21 | | | | |
| 44 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 21 | | | | |
| 45 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 20 | 1 | | ・引きつづき、職員は虐待、身体拘束について学び、保護者や利用児に丁寧に説明をする。 | |

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月8日

事業所名 児童発達支援センター めだかの学校

保護者等数(児童数) 110 回収数 84 割合 76%

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|-----------|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 83 | | | | ・広くて楽しんでいます。 | |
| | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 73 | 6 | | | ・1対1でゆったりと関わってもらっている。 ・先生方が自分の担当の子だけ見ているという感じがしてしまいます。 ・まれにですが、聞いても分からない先生がいて、2・3人に聞くことになっていました。 | ・職員会議等の機会を利用し、職員研修を実施します。 |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 75 | 6 | | 2 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 75 | 5 | | 2 | ・2月頃にサーキットの配置が変わるのが心配。いつもその頃、遊べなくて泣ける。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 78 | 4 | | 1 | | ・グループ内で支援計画の内容を確認し合い、意見を交換を行います。 |
| | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 70 | 4 | | 9 | ・地味なことも、何度もくり返していねいに支援して頂けるので良かったです。 | |
| | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 76 | 4 | | 3 | ・見学する機会があまりなく内容がわかりません。 | ・療育を見学する機会を定期的に設けます。 |
| | 8 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 67 | 8 | | 8 | ・季節に応じた活動があった。 ・学年が上がると親子活動や見学が減りわかりづらい。 ・見学する機会があまりなく内容がわかりません。 | ・玄関のホワイトボードに療育内容やねらいを記載していることを伝え、療育内容を知ってもらえるように周知します。 ・午後からの療育でも、親子活動を実施する機会を設けます。 |
| | 9 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 72 | 6 | 1 | 4 | | ・それぞれの機関の役割について丁寧に説明をします。 |
| | 10 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 77 | 2 | | 4 | | ・支援計画の説明をより丁寧に行うように、心掛けます。 |
| | 11 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか | 56 | 11 | 1 | 15 | ・子どもたちの活動を見ながら先生方からの助言が聞けたら良かったです。 ・もっと増えると嬉しいです。 | ・親グループの内容について、保護者からの意見を聞き、取り入れます。 ・療育の場面を見学しながら助言をする機会を検討します。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|---|----|----|---|---|--|---|---|
| 保護者への説明等 | 12 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 77 | 6 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・こまめに伝えてくれました。 ・担当の先生によって適切なアドバイスをもらえたり、もらえなかったりする。 ・子どもの状況をよく理解し関わってもらっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・療育後の反省の中で、担当の子どもの関わりで悩んでいるケースがあれば、グループ全体で考え、保護者に伝えるようにします。 | |
| | 13 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 78 | 2 | 1 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか周りに言えない事等相談しやすい、話やすく親としては不安が和らぐ、ありがたいです ・色々な悩みを聞いてもらい、とてもありがたいです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・その日の療育の様子を一方向的に伝えるだけではなく、保護者の思いを傾聴することに努めます。 | |
| | 14 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 62 | 11 | | | 10 | | <ul style="list-style-type: none"> ・玄関での送迎が多い為、掲示物に気付きにくい。掲示する場所を工夫します。 ・保護者会のPRを定期的に親グループ等で行います。 |
| | 15 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 68 | 9 | 1 | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援サービスなど母親が休む為に受けるのは良くないと言われて、とても悲しくなりました。→母親がリフレッシュは悪いことなのかな・・・と。 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当スタッフや児発管が保護者の方の思いを丁寧に聞き取り、相談や申入れに真摯に対応します。 |
| | 16 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 75 | 7 | | | 1 | | |
| | 17 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 49 | 8 | 2 | | 24 | <ul style="list-style-type: none"> ・月間予定表に先生方の紹介やグループの内容などがあり良かったです。 ・見つけにくい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の報告など、ホームページへのアクセスにQRコードなど活用し、お伝えします。 |
| | 18 | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 77 | 1 | 1 | | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 19 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 72 | 1 | 2 | | 8 | | |
| | 20 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 75 | 2 | 1 | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時にパニックになったら困るので、定期的に訓練をしてもらえるのは助かります。 ・子どもは訓練されているが、大人 お迎え時等はありません。 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行う際に引き渡し訓練を実施します。 |

| | | | | | | | |
|-----|----|------------------|----|----|---|--|---|
| 満足度 | 21 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 69 | 12 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・少し前は登校を嫌がることがありましたが、最近では進んで登校するようになりました。 ・とても楽しみにしています。 ・友達の顔も覚え、担当の先生にも慣れてきた。 ・前期の担当の先生の関わりかたが本人にとってあまり良くなって、行くのを嫌がりだした。今も朝どの先生か不安がる。 ・楽しく行けるときも、そうでない時もありました。 ・でもいやがっていないので、行くのは好きだと思います。 ・毎週たのしみをしています。ありがとうございます。 ・通所をとても楽しみにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当している子どもだけでなく、グループ全体で子どもを見守ったり、声をかけることで親子ともに安心して過ごしてもらうように心がけます。 ・引きつづき、楽しみに通所してもらえるように、療育内容の充実を図っていきます。 |
| | 22 | 事業所の支援に満足しているか | 70 | 11 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に関わってくださいありがとうございます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・親子共に、楽しく過ごせる雰囲気づくりをグループ全体で意識できるように、ミーティングなどで声をかけあいます。 ・子どもの成長を共に感じ、喜びながら、今後も保護者に寄り添った支援をしていきます。 |